

# エシカル消費研究会

代表: 吉橋 正浩、 浜野 隆行

## 1. 研究目的

エシカル消費は本質的な理解や仕組みが不完全なまま、言葉だけが独り歩きをしている。結果として本来の意味と異なる期待や意味が付加され、惑わされる現象が起きている。しかし、Z世代をはじめエシカルを志す消費者は増加しているのは確かである。本研究会において、事例とともにエシカル消費の理解とより根付くための仕組みを考えていきたい。

## 2. 発足の背景・活動方針等

エシカル消費は学際的なキーワードであるため、参加希望者の専門分野における研究題材となりえるかをオープンに論議したい。その中で研究範囲のスコップを決め、テーマごとのリサーチクエスチョンを再定義したいと思う(現在は、吉橋が経済人類学的アプローチ、浜野が消費者行動論からのアプローチ)。新たに参加される方もご自身の研究分野での活用を意識しつつ相乗効果が生まれると思われる場合は是非議論に参加頂き、ご自身の研究活動への貢献と学会の研究成果の両面で生きるテーマと感じましたら研究参加頂きたい。

研究会のテーマ例((あくまでも我々の想定ですので、研究目的ごと持ち込み下さい))

- エシカル生産や流通などのエシカル企業事例研究
- エシカル経済や循環型経済などの社会事例研究
- エシカル消費者心理・行動経済学的研究
- エシカル消費活動の構造化・論理化研究
- 自身がZ世代やエシカル消費行動実践者で、オートエスノで研究

## 3. 活動計画

2022年: 初回研究方針会議(7月半ばを予定)後、月1回(Max1時間)で研究会開催

2023年: 春季研究報告大会で研究成果発表

## 4. 研究会メンバー募集の考え方

ご自身の研究の一環として取り組める方であれば、参加資格は問いません(ただし、意見のみのフリーライドはお断りします)。可能な限りエシカル消費の中心であるZ世代(高校生~30代まで)の研究者の参加を歓迎します。将来的に学会に参加いただける可能性があるのであれば、会員外のZ世代の学生(社会人学生も含む)や社会人研究者の応募も可能とします。

参加希望の方は、①氏名、②所属、③連絡先(メールアドレス、電話番号)、④取り組みたい研究テーマを記載し、環境経営学会事務局(smfm@smf.gr.jp)までご連絡ください。